

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年5月21日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年5月21日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【H2エリア溶接型タンク2基の昇降梯子の垂直手摺部一部破損について】 設備主管グループによるH2エリア溶接型タンクの外観目視点検において、タンク2基の昇降梯子の垂直手摺部に各々1箇所の破損を確認。 当該昇降梯子に「昇降禁止」の表示を掲示。 H2エリアに設置されている残り42基のタンク昇降梯子については、異常のないことを確認済み。 今後、破損原因の調査を行い、修理を行う。</p>	GⅢ	5月17日
2	<p>【化学管理システムにおける分析依頼時の誤選択について】 当社社員が、雨水散水実績を入力した際、試料名称が誤っていることを確認。 原因は、「化学管理システム(分析計画依頼)」で雨水散水の分析依頼をする際、本来「排水・散水Fエリア300m3雨水タンクA」と選択すべきところ、「排水・散水Fエリア雨水タンクA」を誤って選択したもの。 試料名称が誤っているだけで、分析に使用した試料、分析結果に誤りはない。 公表用の試料名称について、修正予定。 今後、再発防止対策を検討予定。</p>	GⅢ	5月18日
3	<p>【陸側遮水壁設備凍土補給水タンクの原水補給水ライン逆洗式ストレーナのケーシング亀裂について】 当直員が、陸側遮水壁設備凍土補給水タンクの補給ライン通水前確認において、原水補給水ライン逆洗式ストレーナのケーシング(※)に亀裂を確認。 その後、ストレーナのバイパスラインを使用し、漏えい確認を行った結果、問題なしを確認。 当該補給水ラインは、バックアップ設備のため設備の運転に影響なし。 今後、亀裂の原因調査を行い、修理方法を検討する。</p> <p>※ケーシング:ストレーナを固定する金属性の外枠</p>	GⅢ	5月17日